

学報



VOL. 35

2010.6.1

- 1 聖書のことば
- 2 就職状況と就職支援
- 3 国際看護実習
- 4 ボランティア通信
- 5 私の教育・研究
- 6 新任教員の紹介
- 7 2010年度公開講座
- 8 クリストファーニュース
- 9 後援会から
- 10 お知らせ



Campus Life 春

季節によって表情を変えるキャンパス。
学生たちはたくさんの希望と期待を胸に
それぞれの夢に向かって
新しいスタートを切りました。

学報

VOL. 35 2010.6.1

聖隷クリストファー大学 学報

発行者 聖隷クリストファー大学

〒422-8558 静岡県浜松市北区三方東町3453 TEL053-439-1400 FAX053-439-1406 http://www.seirei.ac.jp

CHRISTOPHER news



看護学部によるハンドベルと思い出の写真



卒業後も聖隷の精神を大切にすることを誓ったキャンドルサービス



社会福祉学部による唱歌、曲は「Song for〜」



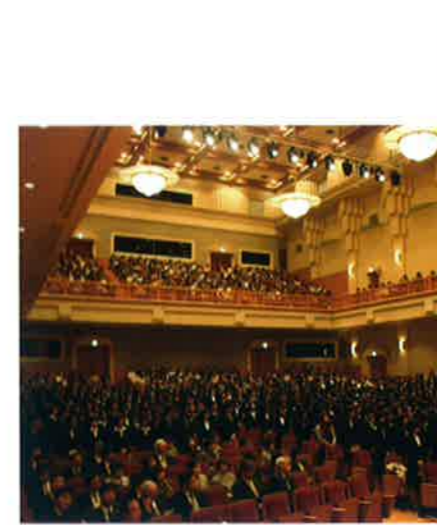
参加者全員での大合唱「栄光の架け橋」

2009年度卒業パーティ

3月10日(月)アクトシティ浜松中ホールにて行われた卒業式・修了式の後、ランドホテル浜松に場所を移して卒業パーティ(後援会・校友会・同窓会・大学共催)が行われました。パーティでは、卒業生・修了生、関連施設・病院からの来賓の方々、保護者の方々、教職員を含め約800名が一堂に会し、卒業・修了をお祝いしました。聖隷精神を象徴するキャンドルサービスに始まり、就職・実習でお世話になった施設や病院の方々からお祝いや励ましの言葉をいただきました。教職員の心のこもったパフォーマンス、最後に全員で合唱をした「栄光の架け橋」は、卒業生・修了生が乗り越えてきた勉強や実習の辛かった体験と重なり、感動的な大合唱で締めくくられました。本学から巣立った卒業生・修了生、これから卒業に向けて大学生活を送る在学生にとり、思い出の会となりました。

2010年度入学式

4月2日(金)、アクトシティ浜松中ホールにて、2010年度入学式を行いました。本年度の新入生は3学部、助産学専攻科、大学院の4研究科合わせて401名です。
新入生のことばとして、リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻に入学した松浦愛奈さんが「作業療法士になるためのスタートラインに立つことができた。今後は、医療の知識や技術を身につけ、バランスの取れた人間として成長したい。また、保健医療福祉分野の専門職者を目指す学生同士が、価値観を共有しともに支え合いながら、充実した学生生活を送りたい。」と誓いの言葉を述べました。



GAKUYUKAI

学友会活動を振り返って



2009年度学友会会長
岩崎 優子
社会福祉学部3年次生

この1年間の学友会活動を振り返ると、周りの方々に支えられて過ごすことができたと感じます。また活動の中では、特別行事を通して3学部の交流ができた。また多くの学生が参加することで、学友会の活動がとても身近に感じてもらえたのではないかと思います。
球技大会では、休日にもかかわらず多くのチームが参加してくれました。球技大会のために何日も前からチームで練習をするなど、友達との絆をこれまで以上に強くするきっかけになったと思います。また、試合の後に交わす握手は、学部や学年の輪を越え、大学生活でのかけがえのない思い出になったのではないのでしょうか。実際に私達学友会も、行事を運営していく中で多くの学生と交流する機会が増え、学生同士、役員同士の関わりが強くなったと感じました。
人と関わることはとても大切なことです。大学で専門知識と技術を身につけることはもちろんですが、さらに人と関わっていく中で多くのことを学べたらと考えています。それには学友会活動が出会いの場となり、またそのきっかけの一つになればと思います。
そして、学生皆が勉強に取り組みやすい環境作りをし、楽しいキャンパスライフを送れるようにと活動してきました。そんな活動がこれからも続いて欲しいと思っております。



学報アンケート

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。
大学報へのご意見・ご感想をお寄せ下さい
ご協力お願い申し上げます ▶ <http://big.seirei.ac.jp/d/>



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学

看護学部「養護教諭一種免許状」を 取得できる課程が認定されました

静岡県内には、これまで養護教諭養成課程をもつ大学はありませんでしたが、2010年4月、本学看護学部「養護教諭一種免許状」を取得できる課程が文部科学省より認定されました。現在、保健師合格者の個人申請で「養護教諭二種免許状」の取得が可能ですが、新たに養護教諭養成課程の認定により、2010年度入学生より教育職としての養成を強化した「養護教諭一種免許状」の取得が可能になります。

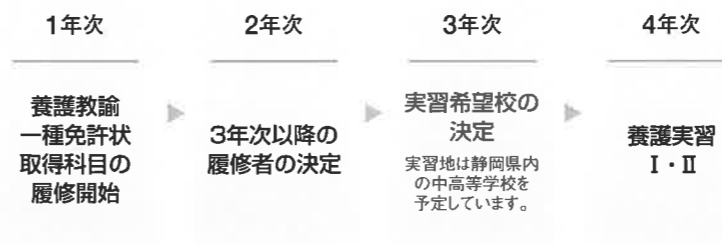
養護教諭養成課程 担当教員より

養護教諭は、小・中・高等学校及び特別支援学校で児童生徒の健康の維持増進に関する活動を担当する教育職員です。子どもたちと問題を共有しながら、健康へと導いていく養護教諭の仕事はとてもやりがいのあるものです。子どもの健康問題は社会の状況によって変化し続けています。それに伴い、養護教諭に求められる職務や能力も感染症予防や救急処置から、カウンセリング機能や関係機関とのコーディネート機能まで広範囲に拡大してきました。本学で学ぶ健康疾患及び看護として教育の知識・技能は、このような社会の要請にこたえるに十分なものであると考えます。

また、本学の養護教諭養成課程では、1年次から4年間かけて必

要な単位を修得するという形をとっています。このことにより、看護職としてのみでなく、教育職としての自覚をじっくりと育てることができ、4年次には、実際に学校へ出向いて養護実習を行い、養護教諭の職務に触れる機会を持つこととなります。教育・養護を学ぶことは今後、看護師・保健師の道を選ぶとしても必ず役に立つ経験になると思います。養護教諭一種免許状を取得するには、さらに29単位が必要となります。養護教諭をめざすという強い意志をもち、困難を承知の上で、チャレンジしようという学生を待っています。

◎「養護教諭養成課程」履修の流れ



社会福祉学部 子ども教育福祉学科 音楽実技教育の強化に向けた取り組み



3年次生「実習・就職対策ピアノレッスン」の様子

社会福祉学部は、子ども教育福祉学科を開設し3年目を迎えました。今後の学生の就職に備えるために、「音楽実技教育」を強化していきます。幼稚園教諭や保育士の採用試験では、基本的な能力の確認として音楽の実技テストがあるのが一般的です。これに対応できるように授業や授業以外にもレッスンをできるようにしていきます。

◎1年次は、「幼児音楽」で少人数でのピアノレッスンをしています。
◎2年次は、「子ども音楽」において弾き歌い等の実技を強化します。
◎3年次は、1・2年次の学びをさらに強化するため、年間を通して個別のピアノ・歌の学習ができるように個人レッスンをしています。
また月曜日以外の放課後、各学生の進度や希望により非常勤講師によるピアノレッスンをしています。そのために、2号館の3階と4階にある4部屋のピアノ演習室及び音楽室のピアノを増やし音楽実技教育を充実させていきます。

保健医療福祉専門職を志す学生の就職支援—地域拠点づくりを軸に

文部科学省の 学生支援推進プログラムに 採択されました

本学の就職支援の取り組み「保健医療福祉専門職を志す学生の就職支援—地域拠点づくりを軸に」が、文部科学省「2009年度 大学教育・学生支援推進事業」【学生支援推進プログラム】に採択されました(取組期間:2009~2011年度)。

「大学教育・学生支援推進事業」とは、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取り組みの中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取り組みを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としたものです。本学は「就職支援の強化など総合的な学生支援」のテーマBに応募し採択されました。

事例集は、日本学生支援機構のホームページ[http://www.jasso.go.jp/sien_suishinpro/jireishuh21.html]で公表されていますのでご覧ください。

本学の就職支援は、静岡県内の保健医療福祉施設との連携強化を図り、卒業生とのつながりを育て、大学を就職拠点としたネットワークを築くことにより、保健医療福祉の専門職を志す学生の希望する就職が確実に実現する就職支援を行うことを趣旨・目的としています。また、正課外における専門職としてのキャリア形成支援と就職支援の充実を図り、学生自身の専門職としての将来像のイメージ作りと就職に対する意識を向上させることを目標とします。また、保健医療福祉分野への就職希望者に対する就職内定率90%以上及び国家試験合格者の全国平均以上を継続して達成することを数値目標としています。

●就職状況

2009年度に本学を卒業・修了した学生は319名です。そのうち就職希望者は296名、就職者数は295名と例年通り就職率はほぼ100%です。なお進学者数は15名でした。

今年も100%の就職率を維持できたのは、就職活動における学生個々の努力はもちろんのこと、卒業生(先輩)がそれぞれの職場で高く評価されていることから、本学の学生に対しての期待の表れだと言えます。

■2009年度就職状況

	卒業(修了)者数	就職希望者数	就職者数	就職率	就職者以外	
					進学	その他
看護学部	137	124	124	100	12	1
助産学専攻科	13	13	13	100	0	0
社会福祉学部 介護福祉専攻	32	32	32	100	0	0
社会福祉学部 社会福祉専攻	57	54	53	98	1	3
リハビリテーション学部 理学療法専攻	32	29	29	100	2	1
リハビリテーション学部 作業療法専攻	30	29	29	100	0	1
リハビリテーション学部 言語聴覚専攻	18	15	15	100	0	3

●取り組みの内容

1 地域で活躍する専門職の講演会

低学年から専門職としてのキャリア形成を図ることを目的に行っています。学生の就職に対する意識の向上、学生への進路選択支援、職業意識向上、専門職としてキャリアアップすることの意義を学びます。保健医療福祉施設の専門職者の仕事を紹介し、専門職として働く上でどのようなことを大切にしているのか、学生の時に考えていた現場と実際の現場との比較等について話を

2 卒業生と在学生との懇談会

就職活動を開始する3年次生を対象にして将来目標の確立、大枠で自分の進路を決めることを目標としています。学生が様々な進路(就職)について具体的なイメージを持ち、行動へと踏み出せるよう、実際に保健医療福祉施設で活躍している卒業生に話を聞きます。



看護学部「卒業生と在学生との懇談会」

看護学部は、病院、施設、地域の現場で活躍中の卒業生から直接話を聞き、看護領域ごとの特徴、仕事内容、求められる資質等について理解し、進路に対する具体的なイメージを深めます。

◎社会福祉学部は、福祉専門職としての仕事などのようなものが学生時代にどんなことを学べるか、何をしておくべきか卒業生の話を聞きます。また、卒業生がどのような就職活動をしたのか、また実際に働いてみての様子等、就職活動を始めるにあたり不安や心配に感じていることについて情報をもらおう場です。

◎リハビリテーション学部は、卒業生が少ないことから「地域で活躍する専門職の講演会」と兼ねて「卒業生との懇談会」を行っています。

3 地域の保健医療福祉施設の求人担当者 と本学教職員との情報交換会

就職実績の多い保健医療福祉施設の採用担当者を大学に招き、大学への理解を深めてもらうために、学部、大学院で行っている教育、就職支援の考え、学生の状況について大学側が説明をします。採用担当者からは、本学卒業生の状況や求人者の状況等についてお聞きします。また、保健医療福祉

施設との現場で求められている能力について聞き、教育課程、授業、実習等についてフィードバックしています。

4 病院 施設・企業説明会の学内開催

学生が保健医療福祉施設の採用担当者や直接話をすることにより、学生の就職活動への動機付けと応募先検討の機会としています。また、学生の確かな就職を実現するために参加した保健医療福祉施設との関係を強くすることも目的としています。就職活動が本格的に始まる前にとり、これから、看護学部は4年次の6月、リハビリテーション学部は4年次の8月、社会福祉学部は3年次の2月に



社会福祉学部「学内就職相談会」

行っています。

5 4年次生による就職活動報告会

各学部で4年次生が先輩たちに就職・進学活動についての体験を話します。どのような就職・進学活動を行ったのか、その実際を聞くことにより、在学生が就職活動を実感し、やる気を起こす場になっています。



リハビリテーション学部「就職活動報告会」

なお、社会福祉学部子ども教育福祉学科の1期生は現在3年次で、来年度3月に卒業です。就職支援行事は今年度の秋セミナー(10月)から本格的に始まり、来年度の就職活動に備えます。

シリーズ 聖書のことはば 【長谷川保と聖書】

人の口は、
心からあふれ出ることを
語るのである。

(ルカによる福音書6:45)

ボランティア 通信

ボランティアサークル「TOLO」 Think Our Life Organization ～私たちが生活する地域・人々の暮らしを考えていこう～



TOLOの学生と子どもたち



勉強会の様子

TOLOは浜松市の大学生が地域社会の有する様々な問題に対して、地域におけるリーダーとして積極的に提言を行い、地域貢献を使命として主体的に活動をするNPO団体「CSN(College Student Network)」に属するボランティアサークルの一つです。2003年の結成以降現在に至るまで、週一回、浜松市内T団地集会所において、主にベトナム人児童に対する学習支援を継続しています。これまでTOLOは子どもたちへの学習支援に加え、総合学習の要素を含んだ遠足やクリスマス会等のイベントを企画・実施し、大学生と子どもとの交流や文化の交流を図る活動を行ってきました。また、聖灯祭で模擬店を出店し、イベント等にかかるサークル活動の資金集めも行っています。

学生は子どもたちや親から「先生」と慕われており、学習支援のお礼にと自宅に招いてくれてベトナム料理をご馳走してくれたことが何度かありました。一緒に生春巻きを作ったり、フォアの作り方を教えてもらったりと、子どもたちからベトナムの文化や家族のあたたかさや絆を教えてもらうことも多いです。いつも子どもたちからたくさん笑顔や元気をもらいながら、現在も楽しく活動を継続しています。今後も子どもたちへの学習支援を継続させると共に、子どもたちが日本の文化に触れることや、大学生との交流を深めることができるようなイベントを更に企画・実施していきたいと考えています。

(前部長 難波奈都江さん(看護学部2009年度卒業)のことはより)

財団法人 学生サポートセンター 「平成21年度学生ボランティア団体」助成も採択

全国で52大学の学生ボランティア団体が選出されました。当採択により助成金を受け、代表者は「今後のイベント活動や子供たちへの支援の幅が広がります。」と胸を弾ませていました。

ボランティア団体表彰式 ジェネプランコンテス

2月2日、東京での表彰式にて。写真右がTOLOの田口恭之さん(社会福祉学部3年次生)



浜松市「青少年の表彰」で 善行賞を受賞

浜松市「青少年の表彰」は、地域に貢献する活動を続けている25歳未満の浜松市民・団体を対象とするもので、TOLOが善行賞に選ばれ、1月27日、浜松市長より表彰を受けました。

写真左より
前部長:難波奈都江さん(看護学部2009年度卒業)、部長:加藤衣里さん(社会福祉学部3年次生)、前副部長:久保田純女さん(リハビリテーション学部2009年度卒業)



ボランティア系サークル一覧 (2010年4月現在)

ALS患者さんを励ます会	在宅療養中のALS(筋萎縮性側索硬化症)患者さんごとに担当するグループを作り、身体的ケア、話し相手、本読みなどの援助を行っています。
TOLO	地域において外国人児童・生徒への学習支援をしています。
マナの会	聖隷ホスピスにおいて、定期または不定期に行われている行事のお手伝い、花壇の手入れやホスピスケアについての勉強会をしています。
献血推進サークル	浜松駅前献血ルームを活動場所として、他大学の学生とともに献血キャンペーンを展開しています。
ポッチャ	障がい者スポーツのひとつであるポッチャを行う選手への援助及び交流を目的に活動しています。
Global Kids	世界の子供たちへの支援活動を行っています。
エコキャップ	ペットボトルのキャップを回収し、エコキャップ推進協会を通じて、世界の子供たちにワクチン代を寄付する運動に参加しています。
わたがし	小羊学園三方原スクエアにおいて障がいをもつ方との交流を行っています。

■ボランティア活動推進室(学生サービスセンター内)

ボランティア活動推進室は、ボランティアをしたいと考えている人を積極的に支援しています。始めたいとは思っているが、どうしたらいいかわからないと迷っている人にも丁寧に説明をします。ボランティア活動推進室の主な活動は次の通りです。

【活動内容】

- ①学内のボランティア情報の集約 大学に寄せられる施設・団体等からのボランティア依頼や学部・教員・ゼミ等が実施するボランティア活動など学内のボランティア情報は、「ボランティア活動推進室」に集まります。この情報は、ボランティアメール・掲示・ホームページ・冊子等により学生のみなさんに紹介しています。
- ②ボランティアメール 推進室に登録をしている学生には、ボランティアメールでボランティアの募集情報などを都度送信しています。
- ③相談受付 「ボランティアに興味があるけど、何をしたらいいかわからない」「学校にはどんなボランティアの募集が届いているの」等のボランティアに関する質問や相談に対応しています。
- ④ボランティアサークルへの対応 ボランティアサークルの設立、部員募集や運営についての相談を受け付けています。



シンガポール総合病院の看護師と

3/13	シンガポールへ向け出発
3/14	自由行動
3/15	ナンヤン理工学院(NYP)にてオリエンテーション 講義・学内見学その他、シミュレーターや心肺蘇生法を体験
3/16~3/19	シンガポール総合病院にて内科・外科病棟での実習
3/20~3/21	自由行動
3/22~3/26	健康増進協会(HPB)にて幼稚園・小・中学校の健康診断 や健康教育活動を見学
3/27	帰国

※滞在中はNYP看護学生宅でのホームステイも経験しました。



写真左から実習生の中西さん、竹平さん

実習施設のHPB



NYPにてコンピュータモデルを用いた演習



HPBの看護師のみなさんと

※ナースシャドウイングとは、看護師にマンツーマンで「影」のように密着して行動を共にし、その仕事ぶりや職場の雰囲気を観察することです。

特集 国際看護実習

●2010年3月13日~3月27日

国際看護実習は、希望者の中から選考された看護学部3年次生2名が2週間にわたりシンガポールの医療施設等で行う実習です。シンガポール・ナンヤン理工学院(NYP)の全面的な協力を得て次のような目的で2009年度に開始しました。

- ①海外の看護現場で「ナースシャドウイング」を通して看護の対象となる人々とその環境を理解する。
- ②異文化圏での実習経験から自分を再認識することで、他者を受け入れることができる幅広い考え方を身につけて看護者として成長する基礎を培う。

実習中はNYP看護教員がメンターとして学生の実習指導や生活面のサポートを行います。

参加した学生の声

●竹平牧子さん
看護学部4年次生
事前学習として、先生の指導のもと両国の看護や医療について調べ資料を作成し、英語は、国際交流センターに相談し会話と医療用語を中心に勉強しました。事前には知識は役立ちましたが、もっと勉強しておけば良かったと思う事もありました。将来、保健師として地域の保健予防活動に関わりたいと考えています。健康教育に多くの費用と人材を投与するシンガポールの政策や取り組みは興味深く、今後の参考になりました。出発前は不安もありましたが、積極性と体力、そして前向きな気持ちがあれば問題ありません。支えていただいた多くの方に感謝しています。

●中西秋絵さん
看護学部4年次生
海外の医療を知ることで日本の医療を客観的に見る事ができると思いを参加を希望しました。シンガポールでは、実習中の学生の看護技術の高さに驚きました。また、病院内の感染に対する取り組みもとても徹底していました。一方、メンタル面のサポートやインフォームドコンセントは日本の方が徹底しているのではと感じました。こうした違いは文化的背景の違いも関係しているのかもしれない。実習中は英語で自分の意思を伝える時には交渉することも必要です。そうした経験を経て、英語力だけでなく行動力・積極性がさらに高まったと思います。

実習を終えて

看護学部長 渡邊 順子

国際看護実習は、3年ほど前より本学看護学部とNYPと情報交換を重ね準備してきました。今回無事に実習を終えることができて安心しました。参加した中西さんは看護教育の視点から実習し、また、竹平さんは、保健師にとって必要な保健予防活動を重点的に実習できました。

国際看護実習といわれる海外研修との違いは、実習の単位認定化することにあります。準備から研修までを含めると、およそ3単位に相当すると考えられますが、そのためには解決しなければならない課題があり、具体的な実習内容を検討したいと思っています。

本学で行われているその他の海外実習

国際福祉実習

対象=社会福祉学部2、3年次生
派遣国=ブラジル、インド、韓国
実習施設=聖隷関連福祉施設等
期間=夏季または春季休暇 2週間~4週間

国際作業療法実習

対象=リハビリテーション学部作業療法専攻2、3年次生
派遣国=シンガポール
実習施設=地域病院、民間NGO福祉施設等
期間=春季休暇 3週間

ナンヤン理工学院の 実習指導者の先生より



Ms. Chok Huwe Chye

シンガポールは安全で公共交通機関も整備されています。観光施設も多く食文化も豊かですから、自由時間も楽しく過ごすことができます。英語や医療システムなどを事前に学ぶ事で実習がさらに深いものになるでしょう。

2名の学生はこちらの環境にもすぐ慣れ、全ての事に積極的に取り組んでいました。探究心があり、両国の看護実践の相違について常に考えていました。最初は英語に苦労したようですが、次第に要点の把握をできるようになっていました。広い視野と学び共有したいという気持ちによって、二人の実習目標が達成されたことと思います。

※ナンヤン理工学院(NYP)について
NYPは、シンガポールのヘルスケア専門職養成における中心的な役割を担う国立高等専門教育機関です。本学とは、教育・研究活動の促進を目的とし2006年に交流協定を締結しました。以降、本学の学生・教員合わせて延べ100名以上がNYPを訪問し、本学も毎年NYPから研修生・実習生の受け入れを行うなど、活発な相互交流を展開しています。

①出身校 ②前任校・前勤務先 ③専門分野

看護学部

山下 香枝子 教授

①名古屋大学医学部附属看護学校、女子栄養大学、聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程②慶應義塾大学看護医療学部③成人・老年看護学、慢性看護学
「大学での学習・研究活動はあなた自身が何をどうしたいかによって方向性が大きく違ってきます。あなた自身よく考えて具体的に目標を設定して取り組み、あなたの未来にChallengeしましょう」

藤井 徹也 教授

①藤田学園保健衛生大学大学院医学研究科博士課程②名古屋大学医学部保健学科③基礎看護学
「大学時代により多くの知識を学び、活かすことが出来るように頑張ってください。」

長峰 伸治 教授

①名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程②金沢大学人間社会学域学校教育学類③心理学
「大学生には社会人にならなければならない「時間」があります。試行錯誤しながら、将来につながる力を身につけてください。」

梅本 充子 准教授

①三重大学医学部附属看護学校、慶應義塾大学文学部、愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科修士課程②名古屋女子大学生生活福祉学部③老年看護学
「研究分野は高齢者への介護予防、特に回想法療法(高齢者と懐かしい話をして高齢者が元気で生き生きと暮らせるような援助)を専門にしています。皆さんとのふれあいをとても楽しみにしております。」

篁 宗一 准教授

①東京医科歯科大学医学部保健衛生学科、東京大学大学院医学系研究科精神保健学教室博士課程②東京医療保健大学医療保健学部③精神看護学・精神保健学
「自然が豊かで恵まれた環境の聖隷クリストファー大学で一緒に学んでいきましょう。」

粕谷 恵美子 助教

①ラトローブ大学健康科学学部看護・助産学科修士課程②足利短期大学③成人看護学
「実習では皆さん一人ひとりの自分でも気付かない感性や持っている力を引き出せるようサポート出来たらよいと思っています。よろしくお願ひします。」

山下 照美 助教

①浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程②本学准教員③基礎看護学
「浜松にいて一番うれしいのは「雪かきがない」ことです!皆さんと看護について語り合い、共に考えていけることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。」

高橋 佐和子 助教

①名古屋大学医療技術短期大学、新潟大学看護教諭特別科、浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程②浜松市立下阿多古小学校③学校保健
「看護教諭1種免許取得に関する授業・実習を担当します。免許取得への道は険しいですが、ぜひチャレンジしてみてください。」

藤浪 千穂 助教

①聖隷クリストファー大学看護学部、静岡県立大学大学院看護学研究科修士課程②静岡県立大学短期大学部③成人看護学
「専門的な知識や技術を身につけるだけでなく、人や芸術、新しい自分との出会いなどを大切にするとともに、色々なことを積極的に体験し豊かな感性と人間性を築き上げてください。」

小池 武嗣 助教

①聖隷クリストファー看護大学看護学部(2期生)、山形大学大学院医学系研究科修士課程②座間味村(沖繩県)にて保健師として勤務③成人看護学(慢性期)
「「看護師」と「保健師」はとて夢のある職業です。皆さんの先輩として、卒業後の経験から学んだことを少しでも多く伝えていければいいなと思っています。よろしくお願ひします。」

伊藤 純子 助教

①三重県立看護短期大学専攻科地域看護学専攻、浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程②本学准教員③地域看護学
「保健師のカッコよさ、仕事の魅力を皆さんに伝えていけたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。」

清水 隆裕 助教

①聖隷クリストファー大学看護学部看護学科、静岡県立大学大学院看護学研究科修士課程②聖隷三方原病院③精神看護学
「ほどほどに頑張れば「まあ、いいか」と思える能力を大切にしながら学生生活を楽しくしてください。」

杉浦 和子 助手

①名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程③基礎看護学
「初めて教員の道に入りました。臨床経験とは異なる部分を教育という視点で皆さんと勉強していきたいと思っています。」

社会福祉学部

中村 裕子 教授

①東京大学大学院医学系研究科博士課程②仙台北百合女子大学人間学部③介護福祉学・高次脳機能障害学・失語症学・臨床倫理学
「介護福祉活動の大切さを理解して、現場で実践して得た感動を分かち合える人になってほしいと思っています。」

野田 由佳里 助教

①聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科修士課程②愛知文教女子短期大学③高齢者福祉・介護福祉
「ソフトボールとスノーボードが趣味です。サークル活動などを通して多くの学生の皆さんと交流を図りたいと考えています。」

リハビリテーション学部

伊藤 信寿 准教授

①岡山大学大学院教育学研究科修士課程②県立広島大学保健福祉学部作業療法学科③発達障害領域の作業療法
「学生時代の経験は、一生の宝物となります。共に学び、共に悩み、共に成長していきましょう。」

社会福祉研究を志向した頃のこと

川上 昌子 社会福祉学部 教授

■学歴:日本女子大学文学部社会福祉学科、法政大学大学院社会科学部経済学専攻博士後期課程所定単位取得満期退学、博士(学術)
■所属学会:日本社会福祉学会、社会事業史学会、社会政策学会
■研究テーマ:社会福祉政策、貧困問題



私の社会福祉研究との接点は大学時代のセツルメント活動にあります。大学は東京の目白台にありました。大学一年生になつてすぐに、もう50年以上も前のことになりましたが、同じ社会福祉学科の先輩に誘われてセツルメント活動に参加することにしたのでした。私が加わったセツルメントは、江戸川橋セツルメントと言い、東大、日本女子大、日本医科歯科大の学生と医師とがチームとなつて、子供会、青年会と歯科も含めた診療活動を行っていました。当時は、大学に進学できるのは少数でしたから、ある意味で特権階級でした。その代わりに社会的な貢献をすべきであるという意識を持っていました。セツルメントは大学拡張運動とも言いま

すが、大学という象牙の塔にこもっているのではなく、大学人の知識や文化を地域にセツルメント定着して広げようという、アメリカやイギリスに始まる運動です。社会福祉学科の学生の方達のなかには、アメリカのジェーン・アダムスの活動や、イギリスのトウニー・ホールの話をご存知の方もいらっしゃるでしょう。社会福祉の歴史の教科書にはかならず書かれている社会改良運動です。日本の学生セツルメント活動はいくらか左翼的な思想傾向がありました。小生の勉強会や診療活動でしたから、実際は社会改良運動でした。勉強会をしていた場所は、一方に鳩山首相の大邸宅がある音羽の丘があり、他方に田中元首相の大邸宅がある目白の丘がある、その谷間にあるアパートでした。子供たちの勉強をみることは楽しいことでしたし、有意義と思うことが出来たのですが、いろいろな疑問も出てきました。私がしていることは何なのか、独りよがりではないのか、なぜ貧困という問題があるのか、解決策は他にないのかといったことです。猛烈に勉強しました。しかし、すればするほど分からなくなつていったのでした。4年次も終わりに近づいた時に、とても卒業するわけにはいかないと考えました。研究室の助手にしたいと、そのまま現在に至つています。今もわからないことだらけです。ただ、現実から学び、実証研究をとおして明らかにしていくしかないと思つています。その先に実践との結節点があると思つています。

想定外の教員人生と私の野望

宮谷 恵 看護学部 准教授

■最終学歴:千葉大学看護学部(看護学学士)
■所属学会:日本小児看護学会、日本看護学教育学会、日本小児保健学会、日本新生児看護学会、日本家族看護学会
■研究テーマ:小児の在宅人工呼吸療法および在宅重症心身障がい児とその家族の支援に関する研究、小児の入院環境に関する研究、学生の教育に関する研究など



もう時効だと思つたので白状しますが、勉強好きで至つてまじめな看護学生だった私が「教員になることは絶対にあれない」と唯一サボつてた科目は「教育学」で、かつ小児看護実習では指導教員と折り合いが悪く、当時学部長だった小児看護の教授に学部長室に呼び出されるという武勇伝を持つ私。それが何を間違つたのか、過去を知っている同級生が聞いたら涙を流して爆笑するであろう「小児看護の教員」になつてしまいました。

二度立ち止まつて考え直した方がいいのではないかと思つてはいたものの、初めての子育てとほぼ同時に本学のスタディーングメンバーの教員になりドタバタの毎日を送り、子育てが段落してさあちよつと考えるうかと思つたとき、忘れた頃に第2子が生まれる。また同時に助手から講師になつたのでさらにドタバタの加速した日々を送つてしまふ、想定外の教員人生ははや16年がたつていました。しかし、ここここいたつて、ようやくこのような私にも「教員であることの良さ、楽しさ」がわかるようになってきたのです!病院実習で学生が「今まで授業で言われていたけどわからなかったことが、わかりました」と言ってくる時の、輝く表情を見ることが出来るのは本当に嬉しいことです。学内の授業も最初は苦手でしたが、個人で講演会をしてプロログを書いて、絶対に集まらないであろう約150名の学生に話を聞いてもらえることは、ありがたいことなのだと思つようになりました。

2010年度教員人事に関する報告

Table with columns for 昇任 (Promotion), 2009年度退職者 (2009 Departures), 看護学部 (Nursing Dept), 社会福祉学部 (Social Welfare Dept), and リハビリテーション学部 (Rehabilitation Dept). Lists names and positions of staff changes.

新入生オリエンテーションを行いました

新入生を迎えるにあたり、毎年4月には初年次教育の一環として新入生オリエンテーションを開催しています。学生同士や教員との交流を通して、新入生が大学生活に円滑に適應できるように、3日間におよぶ様々なプログラムを用意しています。今年度は4月6日に全学部合同での新入生歓迎会を開催。本学学生によって組織されている学友会が主催となり、音楽系・スポーツ系・文化系・ボランティア系といったさまざまな分野のサークルの紹介を中心に、上級生・新入生との交流を深めました。

また、4月5日～7日の期間に各学部による「新入生セミナー」を実施。上級生が中心となって考えた企画によりスポーツや座談会など各学部ごと趣向を凝らした内容で行われ、新入生の皆さんを歓迎しました。



看護学部:障害物リレー

新入生歓迎会でのサークル紹介

リハビリテーション学部:上級生によるパフォーマンス

社会福祉学部:ボールリレー

2010年1月、本学大学院修了生から6名の「がん看護専門看護師」が誕生しました

2009年度第19回「専門看護師認定審査」合格者が発表され、本学大学院修了生から6名が、がん看護分野で合格されました。「専門看護師」は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた者として認定され、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかります。

専門看護師になるには、認定された教育機関(大学の課程を修了後、実務研修を6ヶ月以上積んだのち、日本看護協会で年1回実施する専門看護師認定試験を受け合格することが必要です。

がん看護分野の専門看護師は全国でこれまで128名、新たに65名が認定されました。静岡県の専門看護師登録者は、がん看護9名、慢性疾患看護1名、精神看護1名の計11名となりました。

合格者の氏名		
一瀬 理加	2006年度修了生	
大木 純子	2007年度修了生	
佐久間 由美	2007年度修了生	
小野田 弓恵	2008年度修了生	
西尾 里美	2008年度修了生	
番匠 千佳子	2008年度修了生	

在学生・教職員による防災訓練を行いました

4月6日(火)、在学生・教職員を対象に防災訓練を行いました。この訓練は、懸念されている東海地震に備え、毎年実施しています。防災オリエンテーションでは、「聖隷学園地震防災対策カード※」に基づき、災害時の避難地への経路について確認をしたり、携帯電話で実際に安否情報システムにアクセスし、災害時に自身の安否を知らせる方法を確認しました。その後、学年・学部ごとのプログラムに分かれ、浜松市北消防署の方による煙体験訓練、避難地への避難、三角巾を使った救護訓練、毛布を用いた救護者搬送訓練などを行いました。消防署の方からは「災害の際には、医療従事者を志す者としての責任があることを自覚して欲

本学の防災訓練プログラム

- 1年次生
 - ・防災オリエンテーション
 - ・避難地の確認
- 2年次生
 - ・防災オリエンテーション
 - ・応急救護訓練 (三角巾を使った救護訓練)
- 3年次生
 - ・防災オリエンテーション
 - ・救護者搬送訓練
- 4年次生
 - ・防災オリエンテーション
 - ・消火訓練、煙体験訓練



1年次生/避難地の確認

2年次生/応急救護訓練

3年次生/救護者搬送訓練

4年次生/煙体験訓練



※ 聖隷学園 地震防災対策カード

聖隷学園の地震防災対策の基本事項を記載しており、中でも、大地震発生時に学生の安全を確認するための「聖隷学園安否情報システム」はインターネットにつながる携帯電話を使って学生自らが自身の安否情報を大学へ送信するものです。大学ではこのシステムを利用して学生の安全を把握します。他にもこのカードには、避難地の案内や大地震に備える基本行動をまとめ、学生たちには常時携帯するように呼び掛けています。

クリストファーニュースは裏表紙に続きます。

2010年度 | 公開講座

詳細は大学ホームページに順次掲載いたします。

一般の方向けの講座を「市民公開講座」、専門職向けの講座を「公開セミナー」として開催いたします。インターネットまたはFAXでお申し込みください。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

市民公開講座

がんと向き合う、地域で支える

ベストセラー「病院で死ぬということ」出版から20年、2人に1人ががんになる時代だからこそ、あなたに知っておいて欲しいことがあります。

- ◆日時/2010年7月18日(日) 15:30~17:00
- ◆講師/ケアタウン小平クリニック 院長 山崎章郎(やまざきふみお)氏
- ◆場所/アクトシティ浜松 コンgressセンター31会議室
- ◆対象/一般市民の方々

主催:緩和ケア普及のための地域プロジェクト 共催:本学保健福祉実践開発研究センター



すこやかリハサポート

- ◆日時/2010年12月11日(土)、12月25日(土) 両日とも13:00~16:00
- ◆講師/本学リハビリテーション学部 理学療法専攻教員
- ◆場所/聖隷クリストファー大学 3号館1階(3101教室)

すこやかに生活を送るためには、生活の中で適切なトレーニングが必要です。この機会に、健康生活を維持するための知識と方法を学び、すこやかに過ごしていただきたいと思ひます。

- ◎第1回:予防医学に基づいた健康づくり/筋力トレーニング 呼吸トレーニング
- ◎第2回:生涯人間発達と健康/脳トレーニング/生活トレーニング

家庭での介護を考える(仮)

- ◆日時/調整中
- ◆講師/本学社会福祉学部教員 他
- ◆対象/家族介護を身近に感じているの方々

公開セミナー

IPW(専門職連携)講座 多専門職のリーダーシップ教育としての連携教育 -イギリスでの実践から-

- ◆日時/2010年7月31日(土) 13:30~15:30
- ◆講師/IPW協会理事長 ヒュー・バー氏
- ◆場所/聖隷クリストファー大学

リーダーシップに関する講座

リーダーシップのたまご:グループワークを通して

- ◆日時/2011年2月予定
- ◆講師/本学看護学部教授 小島通代、社会福祉学部教授 志村健一
- ◆場所/聖隷クリストファー大学

2009年度地域貢献研究事業費 採択事業ポスター発表のお知らせ

日時 2010年11月6日(土)
場所 聖隷クリストファー大学 1号館事務所前ホール(予定)
※自由にご覧いただけるように報告ポスターを掲示します。

2009年10月の保健福祉実践開発研究センター立ち上げに際し、「地域貢献研究事業費」を学内公募しました。「静岡県内の保健医療福祉の実践現場と共同で行い、県内の保健医療福祉の向上につながる研究事業」であることを基準に当センターで審査の上、9件の事業が採択され、実施されました。その研究事業報告を左記日程で行います。当日は聖灯祭・ホームカミングデーも同時開催され、どなたでも大学へお越しいただけます。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

参加申込みに関する問い合わせ先/聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

申込方法

※申込開始は講座開催日の約1ヶ月前からとなります。

インターネット

大学ホームページ→公開講座 (<http://www.seirei.ac.jp/>)
上記ページからお申込が可能です。画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

ファックス

Fax.053-439-1406

氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。FAX用紙は大学ホームページからダウンロードできます。

CAMPUS SCHEDULE

2010年度キャンパススケジュール
(予定)

4月

- 2日(金) 入学式
- 5日(月) 新入生オリエンテーション・新入生セミナー・在学生ガイダンス(7日まで)
- 6日(火) 防災訓練
- 8日(木) 春セメスター授業開始
- 10日(土) 大学院オリエンテーション・ガイダンス

5月

- 1日(土) 創立記念日

7月

- 10日(土) 社会福祉学部 保護者懇談会
- 19日(月) 授業日(海の日)
- 28日(水) 春セメスター授業終了
- 29日(木)～8月4日(水) 春セメスター定期試験期間

8月

- 27日(金) 春セメスター追・再試験(31日まで)

9月

- 22日(金) 春セメスター卒業式・修了式

10月

- 11日(月) 授業日(体育の日)
- 16日(土) リハビリテーション学部 保護者懇談会
- 30日(土) 看護学部 保護者懇談会

11月

- 5日(金) 準備日
- 6日(土) 聖祭祭・ホームカミングデー

12月

- 22日(水) クリスマス礼拝
- 27日(月) 冬期休業(1月5日まで)

1月

- 26日(水) 秋セメスター授業終了
- 27日(木)～2月2日(水) 秋セメスター定期試験期間

2月

- 23日(水) 秋セメスター追・再試験(25日まで)

3月

- 14日(月) 卒業式・修了式、卒業パーティ

2010年3月、(財)大学基準協会の行う大学認証評価において、本学が大学評価の基準に適合しているとの認定を受けました。



今後も大学基準協会から長所として挙げられた点につきましてはより一層の充実を目指すとともに、助言として提言された事項につきましては改善と発展に努めていきます。評価結果、自己点検・評価報告書、大学基礎データ(2008年度)は本学ホームページにてご覧いただけます。
[大学ホームページ→大学案内→データ]
なお、この認定評価期間は2010年4月1日より2017年3月末日までの7年間となります。

キャンパス内全面禁煙スタート

本学では保健医療福祉の専門職者を育成する大学として、かねてからキャンパス内禁煙を推進してきましたが、改めて2010年4月1日より、キャンパス内全面禁煙を実施しています。「禁煙宣言」をするとともに以下の事項を推進します。

- 本学は、健康と福祉に関わる専門職者を育成する教育機関として全教職員・全学生の禁煙を目指します。
- 全学生ならびに教職員にとっての健康の維持と快適な生活環境を整えるためにキャンパス内外(駐車場および周辺地帯を含む)を全面禁煙とします。
- あらゆる機会をとらえて禁煙を推進するための啓発活動を行います。
- 防煙教育、喫煙者に対する禁煙教育、禁煙支援活動を実施します。
- 受動喫煙による非喫煙者への健康被害および迷惑等の防止に取り組みます。

学生数

総数1,486名 男381名 女1,105名

看護学部	リハビリテーション学部
1年次生 162(19)	言語聴覚学専攻
2年次生 157(17)	1年次生 26(5)
3年次生 146(19)	2年次生 22(3)
4年次生 175(23) 計640(78)	3年次生 26(2)
社会福祉学部	4年次生 29(10) 計384(151)
社会福祉学科	助産学専攻科
1年次生 42(16)	計 17(0)
2年次生 56(18)	大学院修士課程看護学研究科
3年次生 74(31)	1年次生 6(0)
4年次生 81(34)	2年次生 7(0)
こども教育福祉学科	長期在学コース 3(0) 計 16(0)
1年次生 41(11)	大学院修士課程社会福祉学研究科
2年次生 31(5)	1年次生 0
3年次生 34(6) 計359(121)	2年次生 5(0) 計 5(0)
リハビリテーション学部	大学院修士課程リハビリテーション科学研究科
理学療法学専攻	1年次生 12(8)
1年次生 35(21)	2年次生 11(9) 計 23(17)
2年次生 31(17)	大学院博士後期課程保健科学研究科
3年次生 38(23)	1年次生 14(3)
4年次生 34(25)	2年次生 12(4)
作業療法学専攻	3年次生 16(4) 計 42(11)
1年次生 41(15)	
2年次生 26(5)	
3年次生 41(14)	
4年次生 35(11)	

※2010年4月1日現在、()内は男子内数

後援会会長 就任挨拶

加藤 義一



この度、後援会の会長を仰せつかりました加藤です。微力な私ですが、保護者の皆さんや大学の先生の方々のご協力を賜り、また、副会長や理事の役員の方々のご支援をいただき、精一杯務めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

今、学生はそれぞれの夢に向かって日々勉学に励んでいます。こうした学生のために、少しでもその環境が良くなるようにと後援会の事業があるのだと思っています。日頃より教職員の方々には大変熱心なご指導をいただいています。世界同時不況から始まった日本経済は、まだまだ厳しい環境下にあります。卒業したが就職がまだ決まらないという現状をよく耳にします。こうした中ではありますが、学生の皆さんの夢を叶えるために、この大学生活が充実したものとなるように後援会としてもできる限りの支援をして行きたいと思っております。保護者の皆さんの深いご理解とご協力をお願い申し上げます。会長のあいさつといたします。

2010年度聖隷クリストファー大学
後援会役員

会長	加藤 義一
副会長	川住 康子 加藤 進
理事	立石 恒雄(大学学生部長)
	高野 宏昭 増田 等
	杉山 昌巳 渡邊 勇吉
	袴田 和代 土屋 達也
	李屋 昌子
幹事	長谷川 良行(大学総務部次長)
	高木 広幸(大学学生サービスセンター長)
会計監査	江川 和宏 渥美 博之

防犯灯を増設しました

毎年行っております保護者満足度調査において、「帰りが遅くなる時、駐車場や学校周辺の道が暗くて怖い。」「外灯を増設してほしい。」等のご意見を多く頂いております。2009年度後援会事業(施設設備費)として2010年3月、第一駐車場付近に4台、大学2号館南側(三方原ペテルホーム前付近)に1台の防犯灯を増設しました。今後も在学生、保護者の皆様のご意見を参考に、施設設備の充実を検討してまいります。

聖隷クリストファー大学後援会

2009年度決算・2010年度予算について

2010年4月2日(金)に2010年度後援会総会が開催され、下記のとおり2009年度決算及び2010年度予算が承認されました。2010年度は、昨年度に引き続き、保護者満足度調査で要望が強い国家試験対策費用の補助予算を増額しました。また、同窓会・後援会奨学金の原資として、前年度繰越金約600万円のうち400万円を奨学金基金へ寄付します。

(単位:円)

収入の部	科目/項目	2009年度決算	2010年度予算
	入会金	3,350,000	3,462,500
会費	26,850,000	27,100,000	
預金利息	13,778	20,000	
前年度繰越金	6,540,698	5,970,759	
収入の部合計	36,754,476	36,553,259	
支出の部	科目/項目	2009年度決算	2010年度予算
	教育活動振興援助費		
新入生セミナー援助	965,903	739,608	
実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	1,399,945	1,400,000	
実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,400,000	1,400,000	
学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	49,920	50,000	
国家試験対策講座等に係る費用の補助	1,778,900	2,250,000	
福利厚生費			
学生相談室の運営に係る費用の補助	5,627,385	5,650,000	
健康診断に係る費用の補助	4,356,390	4,470,359	
健康管理センターの充実補助	237,836	300,000	
学生の自主活動に係る費用の補助	1,732,500	1,800,000	
学生食堂運営費、売店運営費の補助	4,209,798	4,200,000	
防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	155,170	160,000	
卒業記念品贈呈、及び卒業パーティ開催費	3,039,567	3,093,000	
学生用コピー機、印刷機費用の補助	2,869,050	2,000,000	
会員情報提供費			
大学報印刷費、発送費	1,469,104	1,500,000	
保護者懇談会の開催	644,009	650,000	
施設設備費			
学生福利厚生設備品の充実費用	495,600	500,000	
学生駐車場防犯カメラリース料、大学周辺の防犯灯維持費	78,570	85,802	
総務費			
慶弔費	20,000	50,000	
保護者満足度調査経費(郵送費)	133,185	160,000	
会費納付書等印刷費、郵送費	50,965	60,000	
役員会(年3~4回)	69,920	80,000	
同窓会・後援会奨学金原資への繰り入れ	-	4,000,000	
予備費	0	1,954,490	
次年度繰越金	5,970,759	0	
支出の部合計	36,754,476	36,553,259	

後援会よりお知らせ

「同窓会・後援会奨学金」について

2008年度に、本学同窓会が資金600万円を拠出して同窓会奨学金制度を設けました。制度概要は、貸与月額2万円、3・4年次生各学部から1名、計6名の奨学生に貸与するというものです。この制度をより充実させるために、2010年度後援会予算において400万円を拠出し、奨学金原資を600万円から1,000万円に増額、貸与月額を4万円に増額することになりました。それに伴い、制度名称を同窓会奨学金から、同窓会・後援会奨学金に変更いたします。